

1. 背景

- NTT東日本では、市内に立地する中央研修センタにおいて、残菜などから再生可能エネルギーや液肥を創出できる、小型のバイオガスプラントを導入・実証実験を行っている。
- 調布市では食育推進基本計画(平成30年4月)に基づき、学校はもとより、保育園等の子ども関連施設や地域コミュニティにおける食に関するイベントなど、各種取組を推進している。
- 市立小学校においては、食育の推進と併せて、調理残菜を出さないよう工夫し、排出量削減に取り組んでいる。

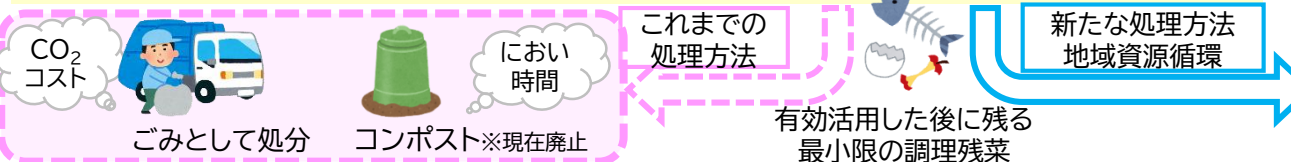
2. 取組の目的

- 小型バイオガスプラントを活用した循環モデルの活用により、市立小・中学校や保育園、地域と連携し、SDGsの達成や環境学習、食育の取組の充実など、多面的効果の創出につなげる。

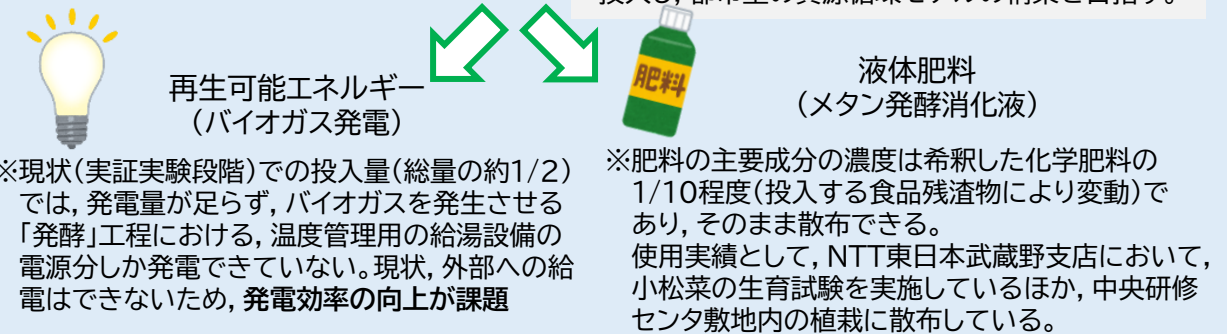
3. 本取組の概要

調布市立学校(深大寺小学校)の取組

- 給食を美味しく、楽しく、安全に喫食する工夫
 - ✓「食事マナープロジェクト」
「いただきます」や「ごちそうさま」の意味を学ぶため、紙芝居を用いて食育を推進
 - ✓コロナ禍におけるタブレットを活用した食育の推進
「パシャパシャタイム」による、家庭と連携した食育推進
 - ✓「給食調理動画」
栄養士が、市内のお米マイスターから給食で使用する御米を相談の様子から、調理員が給食のお米を研ぎ、炊いて、配食の様子を動画で撮影し、YouTubeで公開し広く取組を周知するとともに、教室でも動画を投影し、視聴する。
- 調理残菜を出さない工夫
 - ✓ハタや皮などを予め取り除いた食材の調達
 - ✓野菜の皮や、骨などから出汁を取るなど、食材の有効活用



小型バイオガスプラント
＜NTT中央研修センタ(入間町)＞



バイオガスプラントとは？

- ✓食品残渣や糞尿などをメタン発酵させ、その際に出るガスを活用して発電する設備。処理した残渣や糞尿などは、液肥として活用できる。
- ✓北海道の農場などで活用事例がある。(大型のプラントで、糞尿等を投入)
- ✓今回の実証実験では、都市部での導入を想定し、コンテナサイズの小型プラントで、食品残渣のみを投入し、都市型の資源循環モデルの構築を目指す。

4. 期待する効果

- 液肥の活用を通じた資源循環モデルの周知による、市域内でのSDGsの啓発
 - 例) ✓ 市内で行われる「花いっぱい運動」での液肥活用
 - ✓ 市民が集まるイベントでの液肥配布
 - ✓ 公共施設の花壇等での散布
- 再生可能エネルギーの活用
 - 例) ✓避難所施設でのバッテリー利用
電力をバッテリーに蓄電し、災害時に避難所で携帯電話の充電などに活用する
- 食品廃棄物の焼却処理量削減
資源循環が促進されることにより、焼却処理する残菜の削減
- 環境教育・環境学習や食育の推進など、多様な学習機会の創出の可能性
 - 例) 【学校教育】
 - ✓SDGsの視点による環境教育(リサイクル、バイオガス発電、食べ物と肥料の関係)
 - ✓総合的学習「調布市について学ぶ」
 - 【環境学習】
 - ✓動画コンテンツ等による資源循環の自主学習機会の創出
 - ✓環境学習施設「多摩川自然情報館」や環境フェアなど環境啓発イベントで事例紹介
 - ✓調布市発行の環境情報誌や観光情報誌等による啓発
 - 【食育の推進】
 - ✓食の循環に関する学習
 - ✓環境を意識した食育

5. 今後のスケジュール

	～R4.6	～R5.3	R5.4～
記者発表・1回目搬入	★		
実証による課題抽出・解決※	→		
取組の推進	→		

【目指す姿(案)】 ✓職員が運ばなくても、定期的に調理くず等がNTTへ運ばれる
✓地域や学校に対し、継続的に学習機会が提供される

※月1～2回、小学校の調理残菜等をNTTへ搬入する。
プラントを継続的に稼働させながら、課題を抽出・解決していき、更なる展開を目指す。

6. 記者発表について

記者発表の場を用意し、本取組のキックオフとすることを予定(6/10 プレスリリース予定)
時期:令和4年6月23日(木)
場所:NTT中央研修センタ, 深大寺小学校
概要:児童(4年生)による施設見学, 液肥の活用, 質疑応答